

定期作況報告（最終）

（第 7 号 令和6年11月20日現在）
地方独立行政法人北海道立総合研究機構
農業研究本部 上川農業試験場

1. 気象概況

《 令和 5 年（2023年） 》

11月：平均気温は1.9℃高く、降水量は平年の136%、日照時間は平年の88%であった。
12月：平均気温は0.9℃低く、降水量は平年の117%、日照時間は平年の69%であった。

《 令和 6 年（2024年） 》

1月：平均気温は1.1℃高く、降水量は平年の113%、日照時間は平年の93%であった。
2月：平均気温は0.1℃低く、降水量は平年の44%、日照時間は平年の129%であった。
3月：平均気温は2.4℃低く、降水量は平年の81%、日照時間は平年の105%であった。
4月：平均気温は2.4℃高く、降水量は平年の65%、日照時間は平年の97%であった。
5月：平均気温は0.2℃低く、降水量は平年の107%、日照時間は平年の91%であった。
6月：平均気温は0.9℃高く、降水量は平年の75%、日照時間は平年の104%であった。
7月：平均気温は0.6℃高く、降水量は平年の181%、日照時間は平年の104%であった。
8月：平均気温は2.1℃高く、降水量は平年の80%、日照時間は平年の104%であった。
9月：平均気温は0.1℃高く、降水量は平年の68%、日照時間は平年の128%であった。
10月：平均気温は1.3℃高く、降水量は平年の103%、日照時間は平年の111%であった。

本年の根雪終は4月8日で平年より1日遅く、積雪期間は1日短く、耕鋤始（融雪剤散布圃場）は4月26日で平年より8日遅かった（表 1）。令和5年11月から令和6年10月までの気象は表 2 のとおりである。

以上、農耕期間の4～10月についてまとめると、平均気温は5月、9月が平年並で、4月、6月、7月、8月、10月がそれぞれ2.4℃、0.9℃、0.6℃、2.1℃、1.3℃平年より高かった。降水量は10月が平年並で、5月、7月が平年の107～181%と多く、4月、6月、8月、9月が平年の65～80%と少なかった。日照時間は4月、6月、7月、8月が平年並で、9月が平年の128%と多く、5月が平年の91%と少なかった。5～9月までの積算値は、平年に比べて平均気温が100.2℃高く、降水量が17.3mm多く、日照時間が46.1時間多かった（表 3）。

表 1. 季節表

	初霜 (年.月.日)	降雪始 (年.月.日)	根雪始 (年.月.日)	根雪終 (年.月.日)	積雪期間 (日)	降雪終 (年.月.日)	耕鋤始 (年.月.日)	初霜 (年.月.日)	降雪始 (年.月.日)
本年	R5. 10. 24	R5. 10. 21	R5. 11. 25	R6. 4. 8	136	R6. 5. 8	R6. 4. 26	R6. 10. 10	R6. 10. 19
平年	10. 9	10. 26	11. 23	4. 7	137	4. 22	4. 18	10. 12	10. 26
比較	15	△ 5	2	1	△ 1	16	8	△ 2	△ 7

注1) 本年は令和5(2023)～6(2024)年の値。
2) 根雪始、根雪終、積雪期間、耕鋤始は上川農試(比布町)の観測値。平年は過去10か年の平均値。
3) 初霜、降雪始、降雪終は旭川地方気象台による旭川市の観測値。平年は過去10か年の平均値。
4) △は、平年より“早”または“短”であることを示す。

表 2. 気象表

年月	旬	平均気温 (℃)			最高気温 (℃)			最低気温 (℃)			降水量 (mm)			降水日数 (日)			日照時間 (h r s)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
2023年	上旬	8.3	4.8	3.5	13.9	9.2	4.7	2.2	0.7	1.5	61.5	33.6	27.9	7.0	6.1	0.9	26.2	23.3	2.9
11月	中旬	2.5	1.8	0.7	5.9	5.7	0.2	-0.5	-1.9	1.4	29.0	37.3	▲8.3	7.0	6.5	0.5	15.1	21.1	▲6.0
	下旬	0.6	-0.8	1.4	4.2	2.7	1.5	-2.9	-4.6	1.7	45.5	29.1	16.4	7.0	6.9	0.1	13.3	17.8	▲4.5
平均または合計		3.8	1.9	1.9	8.0	5.9	2.1	-0.4	-1.9	1.5	136.0	100.0	36.0	21.0	19.5	1.5	54.6	62.2	▲7.6
12月	上旬	-3.0	-3.0	0.0	1.8	0.1	1.7	-10.0	-6.7	▲3.3	14.5	25.7	▲11.2	6.0	6.8	▲0.8	9.6	14.4	▲4.8
	中旬	-6.3	-4.5	▲1.8	-3.8	-1.2	▲2.6	-10.1	-9.0	▲1.1	51.0	22.3	28.7	9.0	7.1	1.9	8.7	15.0	▲6.3
	下旬	-7.0	-5.9	▲1.1	-3.9	-2.6	▲1.3	-12.2	-10.2	▲2.0	18.0	23.6	▲5.6	8.0	8.1	▲0.1	12.7	15.3	▲2.6
平均または合計		-5.4	-4.5	▲0.9	-2.0	-1.2	▲0.8	-10.8	-8.6	▲2.2	83.5	71.6	11.9	23.0	22.0	1.0	31.0	44.7	▲13.7
2024年	上旬	-6.4	-7.8	1.4	-2.5	-4.1	1.6	-13.3	-13.0	▲0.3	17.5	17.9	▲0.4	5.0	6.1	▲1.1	20.7	16.6	4.1
1月	中旬	-9.2	-8.5	▲0.7	-4.0	-4.2	0.2	-16.3	-13.9	▲2.4	8.0	12.2	▲4.2	4.0	4.0	0.0	38.5	24.1	14.4
	下旬	-5.6	-8.3	2.7	-2.1	-3.9	1.8	-9.7	-14.0	4.3	23.5	13.1	10.4	6.0	5.7	0.3	6.8	30.0	▲23.2
平均または合計		-7.1	-8.2	1.1	-2.9	-4.1	1.2	-13.1	-13.6	0.5	49.0	43.2	5.8	15.0	15.8	▲0.8	66.0	70.7	▲4.7
2月	上旬	-10.2	-9.1	▲1.1	-4.4	-4.4	0.0	-16.9	-15.2	▲1.7	8.0	11.0	▲3.0	6.0	4.7	1.3	32.6	30.3	2.3
	中旬	-2.0	-5.6	3.6	3.5	-1.5	5.0	-8.0	-10.5	2.5	8.0	17.2	▲9.2	6.0	5.3	0.7	33.7	27.7	6.0
	下旬	-8.9	-5.9	▲3.0	-3.7	-0.9	▲2.8	-15.3	-12.4	▲2.9	1.0	10.2	▲9.2	1.0	3.8	▲2.8	51.1	32.7	18.4
平均または合計		-7.0	-6.9	▲0.1	-1.5	-2.3	0.8	-13.4	-12.7	▲0.7	17.0	38.4	▲21.4	13.0	13.8	▲0.8	117.4	90.7	26.7
3月	上旬	-7.6	-3.1	▲4.5	-1.3	1.5	▲2.8	-14.8	-8.9	▲5.9	21.0	18.4	2.6	5.0	4.8	0.2	46.4	37.6	8.8
	中旬	-2.6	-1.0	▲1.6	2.3	4.0	▲1.7	-8.9	-6.8	▲2.1	8.0	12.9	▲4.9	2.0	3.3	▲1.3	39.0	48.5	▲9.5
	下旬	-0.1	1.0	▲1.1	5.0	6.5	▲1.5	-6.1	-4.7	▲1.4	7.0	13.4	▲6.4	3.0	4.1	▲1.1	72.0	64.1	7.9
平均または合計		-3.4	-1.0	▲2.4	2.0	4.0	▲2.0	-9.9	-6.8	▲3.1	36.0	44.7	▲8.7	10.0	12.2	▲2.2	157.4	150.2	7.2
4月	上旬	3.8	3.0	0.8	10.0	8.0	2.0	-2.3	-2.3	0.0	4.0	16.1	▲12.1	3.0	3.6	▲0.6	69.0	56.3	12.7
	中旬	9.3	4.9	4.4	17.4	11.0	6.4	2.5	-1.0	3.5	0.0	15.4	▲15.4	0.0	3.6	▲3.6	63.4	61.7	1.7
	下旬	9.9	7.9	2.0	16.1	14.4	1.7	3.7	1.1	2.6	25.0	13.1	11.9	2.0	3.2	▲1.2	49.5	69.8	▲20.3
平均または合計		7.7	5.3	2.4	14.5	11.1	3.4	1.3	-0.7	2.0	29.0	44.6	▲15.6	5.0	10.4	▲5.4	181.9	187.8	▲5.9
5月	上旬	9.5	10.4	▲0.9	15.8	16.7	▲0.9	2.9	4.1	▲1.2	30.0	27.3	2.7	2.0	4.5	▲2.5	66.4	55.7	10.7
	中旬	15.9	12.9	3.0	22.2	19.3	2.9	8.8	6.8	2.0	19.0	20.5	▲1.5	2.0	3.3	▲1.3	82.0	71.0	11.0
	下旬	12.0	14.8	▲2.8	17.1	21.1	▲4.0	7.0	8.9	▲1.9	30.0	26.2	3.8	4.0	4.6	▲0.6	37.0	77.1	▲40.1
平均または合計		12.5	12.7	▲0.2	18.4	19.0	▲0.6	6.2	6.6	▲0.4	79.0	74.0	5.0	8.0	12.4	▲4.4	185.4	203.8	▲18.4
6月	上旬	15.5	15.2	0.3	22.0	21.3	0.7	9.9	9.8	0.1	16.0	22.8	▲6.8	4.0	3.9	0.1	65.8	62.2	3.6
	中旬	19.3	16.6	2.7	24.8	22.1	2.7	14.7	11.9	2.8	29.5	31.0	▲1.5	6.0	4.3	1.7	53.6	54.8	▲1.2
	下旬	17.8	18.1	▲0.3	23.4	23.6	▲0.2	12.8	13.3	▲0.5	22.0	36.6	▲14.6	4.0	4.0	0.0	58.9	54.9	4.0
平均または合計		17.5	16.6	0.9	23.4	22.3	1.1	12.5	11.7	0.8	67.5	90.4	▲22.9	14.0	12.2	1.8	178.3	171.9	6.4
7月	上旬	20.3	19.8	0.5	25.7	25.5	0.2	15.8	15.2	0.6	33.0	42.3	▲9.3	6.0	3.5	2.5	52.8	59.9	▲7.1
	中旬	22.7	21.4	1.3	29.6	27.3	2.3	17.0	16.9	0.1	9.0	31.1	▲22.1	3.0	4.0	▲1.0	96.0	60.5	35.5
	下旬	22.9	22.9	0.0	28.4	28.6	▲0.2	18.9	18.2	0.7	195.5	58.1	137.4	7.0	3.5	3.5	48.7	70.1	▲21.4
平均または合計		22.0	21.4	0.6	27.9	27.1	0.8	17.2	16.8	0.4	237.5	131.5	106.0	16.0	11.0	5.0	197.5	190.5	7.0
8月	上旬	23.8	22.2	1.6	29.4	28.0	1.4	19.2	17.7	1.5	9.5	80.7	▲71.2	5.0	4.3	0.7	47.3	57.0	▲9.7
	中旬	23.0	20.5	2.5	30.0	25.8	4.2	18.0	16.2	1.8	39.0	65.2	▲26.2	6.0	4.9	1.1	75.7	50.3	25.4
	下旬	21.9	19.8	2.1	27.1	25.6	1.5	17.6	15.0	2.6	101.0	40.2	60.8	8.0	4.8	3.2	47.3	57.1	▲9.8
平均または合計		22.9	20.8	2.1	28.8	26.5	2.3	18.3	16.3	2.0	149.5	186.1	▲36.6	19.0	14.0	5.0	170.3	164.4	5.9
9月	上旬	19.5	19.0	0.5	26.4	25.2	1.2	12.7	13.6	▲0.9	15.5	28.7	▲13.2	4.0	3.8	0.2	79.6	59.6	20.0
	中旬	15.6	15.5	0.1	21.9	21.6	0.3	9.5	10.3	▲0.8	43.5	50.8	▲7.3	5.0	4.6	0.4	45.9	46.1	▲0.2
	下旬	13.4	13.9	▲0.5	21.0	20.6	0.4	7.2	8.3	▲1.1	14.0	27.7	▲13.7	1.0	4.0	▲3.0	81.1	55.7	25.4
平均または合計		16.2	16.1	0.1	23.1	22.5	0.6	9.8	10.7	▲0.9	73.0	107.2	▲34.2	10.0	12.4	▲2.4	206.6	161.4	45.2
10月	上旬	11.9	11.2	0.7	17.3	16.8	0.5	6.8	6.4	0.4	37.0	49.6	▲12.6	6.0	5.4	0.6	42.3	39.5	2.8
	中旬	9.4	8.3	1.1	16.3	14.1	2.2	1.7	3.2	▲1.5	54.5	36.9	17.6	5.0	5.5	▲0.5	56.1	43.6	12.5
	下旬	8.4	6.3	2.1	14.4	11.8	2.6	2.4	1.6	0.8	35.5	37.4	▲1.9	5.0	5.6	▲0.6	41.2	42.2	▲1.0
平均または合計		9.9	8.6	1.3	16.0	14.2	1.8	3.6	3.7	▲0.1	127.0	123.9	3.1	16.0	16.5	▲0.5	139.6	125.3	14.3

注1) 比布アメダス観測値。平年は過去10ヶ年の平均値。

2) ▲は平年に比べて低または減を示す。

表 3. 農耕期間積算値 (5～9月)

期間	項目	平均気温	降水量	降水日数	日照時間
		(℃)	(mm)	(日)	(hr)
5月上旬 ～	本年	2,786.5	606.5	67	938.1
	平年	2,686.3	589.2	62	892.0
9月下旬	比較	100.2	17.3	5	46.1

注1) 比布アメダス観測値。平年は過去10ヶ年の平均値。

2. 作 況

1) 水稻 良

事由： 播種は平年より4日遅い4月19日に行った。出芽の揃いは良好であった。移植は平年より1日遅い5月20日に行った。移植時の草丈は平年に比べ並から1.1cm短く、第1葉鞘高は並から0.2cm長かった。葉数と茎数はほぼ平年並であった。苗100本当たりの地上部乾物重は、「ななつぼし」では平年より0.34g軽く「ゆめぴりか」では0.12g重かったが、苗の充実度を示す地上部乾物重/草丈はいずれの品種とも平年並であった。

移植後の5月下旬が低温寡照で経過したため、生育は停滞した。その後6月上旬および中旬の気温は平年並から高かったものの、6月20日の草丈および葉数は平年並で、茎数は平年より19～23%少なかった。

6月下旬から7月中旬の気温が平年並からやや高く経過したため、生育は回復した。幼穂形成期は平年より1～2日遅く、止葉期は平年並から1日遅く、出穂期は平年並から1日遅かった。7月20日の草丈は平年並からやや長く、主稈の止葉葉数は平年並、茎数は平年並から8%少なかった。

7月下旬以降の平均気温は平年並から高く経過し、登熟は順調に進んでいる。成熟期の稈長および穂長は平年並で、穂数は9～10%少なかった。

8月下旬の平均気温は平年より高く、登熟期間の平均気温は高かったため、成熟期は平年並から2日早く、登熟日数は1～2日短かった。稔実歩合は「ななつぼし」で平年より2.4ポイント低く、「ゆめぴりか」で0.9ポイント高かった。一穂粒数は平年より12～14%多く、㎡当たり稔実粒数は平年並からやや多かった。登熟歩合は平年より0.7～4.2ポイント高かった。

精粒重は平年比107～115%であった。屑米歩合は「ななつぼし」で平年より0.1ポイント低く、「ゆめぴりか」で0.9ポイント高かった。精玄米千粒重は両品種とも0.8g重く、また㎡当たり稔実粒数および登熟歩合がいずれも平年並から上回っていたことから、精玄米重は「ななつぼし」が75.0kg/a、「ゆめぴりか」が73.1kg/aで、各々平年比110%、117%と多収であった。玄米の検査等級は「ななつぼし」が1等、「ゆめぴりか」が1等下でいずれも平年より優った。

これらのことから、本年の作況は「良」である。

表4. 水稻の生育および収量

品種名			ななつぼし			ゆめびりか		
項 目 / 年 次			本年	平年	比較	本年	平年	比較
生育期節	播種期 (月・日)		4.19	4.15	4	4.19	4.15	4
	移植期 (月・日)		5.20	5.19	1	5.20	5.19	1
	幼穂形成期 (月・日)		6.24	6.22	2	6.24	6.23	1
	止葉期 (月・日)		7.09	7.09	0	7.09	7.10	△ 1
	出穂期 (月・日)		7.20	7.19	1	7.19	7.19	0
	成熟期 (月・日)		9.04	9.04	0	9.02	9.04	△ 2
	穂揃日数 (日)		8	8	0	8	8	0
	登熟日数 (日)		46	47	△ 1	45	47	△ 2
	生育日数 (日)		138	142	△ 4	136	142	△ 6
移植時	草丈 (cm)		13.2	14.3	▲ 1.1	14.0	14.2	▲ 0.2
	葉数 (枚)		4.2	4.1	0.1	4.2	4.2	0.0
	茎数 (本/m ²)		154	147	7	146	155	▲ 9
	第1葉鞘高 (cm)		2.4	2.4	0.0	2.6	2.4	0.2
	地上部乾物重 (g/100本)		4.32	4.66	▲ 0.34	4.78	4.66	0.12
	地上部乾物重/草丈		0.33	0.33	0.00	0.34	0.33	0.01
本田生育	葉数 (枚)	6月20日	8.0	8.1	▲ 0.1	8.5	8.4	0.1
		7月20日	10.0	10.1	▲ 0.1	10.8	10.5	0.3
		止葉葉数	10.0	10.1	▲ 0.1	10.8	10.5	0.3
	茎数 (本/m ²)	6月20日	415	538	▲ 123	490	611	▲ 121
		7月20日	719	719	0	770	839	▲ 69
	草丈 (cm)	6月20日	39.8	41.5	▲ 1.7	39.3	38.6	0.7
		7月20日	90.6	85.1	5.5	85.7	84.3	1.4
成熟期	稈長 (cm)		71.9	69.4	2.5	67.4	66.2	1.2
	穂長 (cm)		17.4	16.8	0.6	17.6	16.9	0.7
	穂数 (本/m ²)		608	673	▲ 65	713	783	▲ 70
収量構成要素	一穂粒数 (粒)		57.7	50.8	6.9	48.0	43.0	5.0
	m ² 当たり粒数 (×100)		351	340	11	342	336	6
	稈実歩合 (%)		93.3	95.7	▲ 2.4	93.9	93.0	0.9
	m ² 当たり稈実粒数 (×100)		327	325	2	321	312	9
	同上比 (%)		101	100	1	104	100	4
	登熟歩合 (%)		89.7	89.0	0.7	88.1	83.9	4.2
	粒摺歩合 (%)		82.3	81.1	1.2	79.0	78.7	0.3
	屑米歩合 (%)		1.7	1.8	▲ 0.1	4.5	3.6	0.9
	精玄米千粒重 (g)		23.2	22.4	0.8	23.5	22.7	0.8
収量	藁重 (kg/a)		75.0	65.3	9.7	69.0	62.6	6.4
	精粒重 (kg/a)		89.4	83.3	6.1	91.0	79.3	11.7
	精玄米重 (kg/a)		75.0	68.1	6.9	73.1	62.7	10.4
	屑米重 (kg/a)		1.3	1.2	0.1	3.4	2.4	1.0
	収量平年比 (%)		110	100	10	117	100	17
	検査等級 (等)		1	1下	—	1下	2中	—

注1) 平年値は前7か年中、令和元年（最凶年）、平成29年（最豊年）を除く5か年の平均値。

2) △は平年より“早”、▲は平年より“減”を示す。

3) 育苗耕種概要 育苗様式：成苗ポット苗

施 肥：成苗培土Hを約1.43 (kg/箱) 充填、
成分量 N 0.5、P₂O₅ 1.0、K₂O 0.8、MgO 0.2 (g/箱)、
置床 N 25.0、P₂O₅ 0.0、K₂O 5.0 (g/m²)

4) 本田耕種概要 栽植密度：25.3株/m² (33.0cm×12.0cm)、3本植

施 肥 量：N 8.0、P₂O₅ 9.7、K₂O 6.9 (kg/10a)、堆肥 0 (kg/10a)

5) 精玄米千粒重および精玄米重：網目1.90mm以上、水分15%換算。

2) 秋まき小麦 (R5年播種) 良

事由： 9月中旬の降雨の影響を受け、播種は平年より6日遅い9月22日に行った。播種の遅れを反映して出芽も平年より4日遅く、10月20日時点での葉数および茎数は平年を下回ったが、越冬前の茎数は平年を上回った。

平年と比較して、根雪始は2日、根雪終は1日遅く、積雪期間は1日短い136日であった。雪腐病発病度はかなり低く、越冬茎歩合はやや高かった。融雪以降は気温が平年並から高く推移し、出穂期は平年より6日早かった。草丈は平年を上回って推移したが、茎数は5月下旬の低温・寡照による減少が大きく平年並となった。成熟期も平年より4日早かった。

稈長は長く、穂長は平年並で、穂数は有効茎歩合が高かったことから平年をやや上回った。平年より千粒重が軽く、蛋白質含有率もやや低かったが、子実重は平年をかなり上回った。容積重は平年並であり、検査等級は1等であった。

これらのことから、本年の作況は「良」である。

表5. 秋まき小麦の生育および収量

品 種 名		きたほなみ		
項 目 / 年 次		本 年	平 年	比 較
播種期 (月.日)		9.22	9.16	6
出芽期 (月.日)		9.30	9.26	4
出穂期 (月.日)		5.29	6.04	△ 6
成熟期 (月.日)		7.12	7.16	△ 4
越冬茎歩合 (%)		110.1	106.7	3.4
雪腐病発病度		3.1	17.3	▲ 14.2
葉数(枚)	令 5年10月20日	3.3	4.3	▲ 1.0
草丈 (cm)	令 5年10月20日	12.9	18.0	▲ 5.1
	令 6年 5月20日	54.0	42.7	11.3
	令 6年 6月20日	94.2	88.4	5.8
茎数 (本/㎡)	令 5年10月20日	411	633	▲ 222
	令 6年 5月20日	1051	916	135
	令 6年 6月20日	564	562	2
成熟期	稈長 (cm)	85	78	7
	穂長 (cm)	8.6	8.6	0.0
	穂数 (本/㎡)	559	452	107
子実重 (kg/10a)		740	515	225
同上平年比 (%)		144	100	44
容積重 (g/L)		833	842	▲ 9
千粒重 (g)		40.4	42.5	▲ 2.1
蛋白質含有率 (%)		8.5	9.2	▲ 0.7
検査等級 (等)		1	1	—

注1) 平年値は前7か年中、収穫年における令和5年（最豊年）、平成30年（最凶年）を除く5か年の平均値。

2) △は平年より“早”、▲は平年より“減”を示す。

3) 春まき小麦 良

事由： 播種は平年より1日早い4月17日に行った。播種後、平年より気温が高く経過したことから、出芽期は平年より4日早かった。その後も生育は順調に進み、出穂期は平年より3日、成熟期も平年より2日早かった。

稈長は平年並であるが、穂長はやや長く、穂数はやや多かった。登熟期間はほぼ平年並みであったが、穂数が多かったことから、子実重は平年比119%と多収であった。蛋白質含有率と千粒重は平年並で、容積重は平年よりやや軽かった。検査等級は平年並の1等であった。

これらのことから、目下の作況は「良」である。

表6. 春まき小麦の生育および収量

品 種 名		春よ恋		
項 目 / 年 次		本 年	平 年	比 較
播種期 (月・日)		4.17	4.18	△ 1
出芽期 (月・日)		4.28	5.02	△ 4
出穂期 (月・日)		6.15	6.18	△ 3
成熟期 (月・日)		7.24	7.26	△ 2
草丈 (cm)	5月20日	28.8	21.9	6.9
	6月20日	84.6	80.2	4.4
茎数 (本/㎡)	5月20日	897	650	247
	6月20日	686	752	▲ 66
成熟期	稈長 (cm)	91	93	▲ 2
	穂長 (cm)	9.4	8.3	1.1
	穂数 (本/㎡)	558	508	50
子実重 (kg/10a)		531	447	84
同上平年比 (%)		119	100	19
容積重 (g/L)		810	824	▲ 14
千粒重 (g)		38.2	38.7	▲ 0.5
蛋白質含有率 (%)		11.6	11.5	0.1
検査等級 (等)		1	1	—

注1) 平年値は前7か年中、平成29年（最豊年）、令和3年（最凶年）を除く5か年の平均値。

2) △は平年より“早”、▲は平年より“減”を示す。

4) 大豆 良

事由： 播種は、平年より1日遅い5月20日に行った。播種後の5月下旬は平年より低い気温で推移したため、出芽期は平年より5日遅かった。6月上旬以降、気温が平年並から高く推移したため、開花期は平年より1日早かった。生育は順調に進み、平年に比べ、主茎長はやや長く、分枝数と着莢数はやや多く推移した。なお、7月23日から24日にかけての豪雨により試験区の一部が倒伏した。9月上旬以降、降水量は少なく推移したため、成熟期は平年より2日早かった。

百粒重は32.0gと平年より軽く、屑粒率は3.1%とやや多かったが、子実重は479kg/10aで平年比119%と多かった。検査等級は2等中であった。

これらのことから、本年の作況は「良」である。

表7. 大豆の生育および収量

品 種 名		ユキホマレ		
項 目	年 次	本年	平年	比較
播種期 (月.日)		5.20	5.19	1
出芽期 (月.日)		6.04	5.30	5
開花期 (月.日)		7.11	7.12	△ 1
成熟期 (月.日)		9.15	9.17	△ 2
主茎長 (cm)	6月20日	15.5	13.5	2.0
	7月20日	57.9	54.9	3.0
	8月20日	60.1	59.0	1.1
	9月20日	60.2	58.3	1.9
	成熟期	60.2	58.3	1.9
主茎節数 (節)	6月20日	4.1	3.8	0.3
	7月20日	10.1	9.5	0.6
	8月20日	10.0	10.2	▲ 0.2
	9月20日	10.1	10.1	0.0
	成熟期	10.1	10.1	0.0
分枝数 (本/株)	7月20日	7.4	5.7	1.7
	8月20日	7.3	6.4	0.9
	9月20日	7.3	6.1	1.2
	成熟期	7.3	6.1	1.2
着莢数 (個/株)	8月20日	102	81	21
	9月20日	106	75	31
	成熟期	106	75	31
子実重 (kg/10a)		479	404	75
同上平年比 (%)		119	100	19
百粒重 (g)		32.0	33.9	▲ 1.9
屑粒率 (%)		3.1	1.6	1.5
検査等級 (等)		2中	2中	—

注1) 平年値は前7か年中、令和5年（最豊年）、令和3年（最凶年）を除く5か年の平均値。

2) △は平年より“早”、▲は平年より“減”を示す。

5) 小豆 やや良

事由： 播種は平年より1日早い5月23日に行った。5月下旬が低温だったため出芽期は平年より1日遅かったが、その後は平年並から高温で推移し、開花期は平年より1日早かった。地上部生育は順調に進み、特に7月下旬以降は気温が平年並から高く推移し、土壌水分も十分であったことから、平年と比較して主茎長はかなり長く、本葉数および分枝数はやや多く、莢数は多かった。成熟期は、8月の気温が高く推移したことから平年より6日早かった。

登熟期間が短かった影響を受け、百粒重は平年よりやや軽く、倒伏も発生したが子実重は平年比106%であった。検査等級は平年よりやや劣る3等上であったが、屑粒率は平年より低かった。

これらのことから、本年の作況は「やや良」である。

表8. 小豆の生育および収量

品 種 名		エリモショウズ		
項 目 / 年 次		本年	平年	比較
播種期 (月.日)		5.23	5.24	△ 1
出芽期 (月.日)		6.09	6.08	1
開花期 (月.日)		7.22	7.23	△ 1
成熟期 (月.日)		9.04	9.10	△ 6
主茎長 (cm)	6月20日	5.5	5.0	0.5
	7月20日	30.4	26.3	4.1
	8月20日	83.1	60.5	22.6
	成熟期	87	67	20
本葉数 (枚)	6月20日	1.4	0.9	0.5
	7月20日	9.4	8.0	1.4
	8月20日	13.5	12.6	0.9
主茎節数 (節)	成熟期	14.1	13.5	0.6
分枝数 (本/株)	7月20日	5.8	5.7	0.1
	8月20日	6.8	6.0	0.8
	成熟期	6.6	6.0	0.6
着莢数 (個/株)	8月20日	84	60	24
	成熟期	68	54	14
子実重 (kg/10a)		357	336	21
同上平年比 (%)		106	100	6
百粒重 (g)		12.9	13.7	▲ 0.8
屑粒率 (%)		1.8	4.5	▲ 2.7
検査等級 (等)		3上	2中	—

注1) 平年値は前7か年中、平成29年（最豊年）、令和3年（最凶年）を除く5か年の平均値。

2) △は平年より“早”を示す。

6) ばれいしょ やや良

事由： 植付けは平年より1日遅い5月10日に行った。その後、5月中旬の気温が高く推移したことから萌芽期は平年より1日早く、開花始も1日早かった。6月上旬以降、気温が平年並から高く推移し、適度な降雨もあったことから地上部生育は旺盛となり、茎長は平年より長かったがやや徒長気味であった。7月中旬以降は、気温が高く、降水量および日照時間は平年と比較して極端な多少があったが、枯ちょう期は平年より1日早い程度であった。

上いも数および上いもの平均重は平年並であったがわずかに平年を上回り、規格内いも重は平年比106%であった。でん粉価は、7月中旬の高温・少雨と6月下旬から7月中旬までの日照時間が平年並から多かった影響を受け高く推移した。一方、7月下旬にまとまった降雨があった以降は土壌が湿潤な状態が続いたことから低下し、最終的には平年並であったが0.3ポイント上回った。

これらのことから、本年の作況は「やや良」である。

表9. ばれいしょの生育および収量

品 種 名		男爵薯		
項 目 / 年 次		本 年	平 年	比 較
植付期 (月.日)		5.10	5.09	1
萌芽期 (月.日)		5.27	5.28	△ 1
開花始 (月.日)		6.21	6.22	△ 1
枯凋期 (月.日)		8.24	8.25	△ 1
茎長 (cm)	6月20日	34.8	30.8	4.0
	7月20日	55.2	45.6	9.6
上いも数 (個/株)	7月20日	8.6	8.6	0.0
	8月20日	10.4	9.9	0.5
上いもの 平均重 (g)	7月20日	69	72	▲ 3
	8月20日	97	98	▲ 1
上いも収量 (kg/10a)	7月20日	2624	2751	▲ 127
	8月20日	4492	4317	175
でん粉価 (%)	7月20日	15.2	14.0	1.2
	8月20日	14.8	14.7	0.1
収 穫 期	上いも数 (個/株)	10.7	10.3	0.4
	上いもの平均重 (g)	102	100	2
	上いも収量 (kg/10a)	4871	4582	289
	同上平年比 (%)	106	100	6
	中以上いも収量 (kg/10a)	4321	4071	250
	同上平年比 (%)	106	100	6
	規格内いも収量 (kg/10a)	3952	3723	229
	同上平年比 (%)	106	100	6
	でん粉価 (%)	14.6	14.3	0.3

注1) 平年値は前7か年中、令和4年（最豊年）、平成30年（最凶年）を除く5か年の平均値。

2) △は平年より“早”、▲は平年より“減”を示す。